
市営バスの認知度の向上と利用の促進



尾張旭市営バス「あさぴー号」を育てる会（尾張旭市）

はじめに

◆市域面積 21.03km²
(東西最長5.7km 南北最長5.6km)

◆人口 81,561人(平成22年2月末現在)

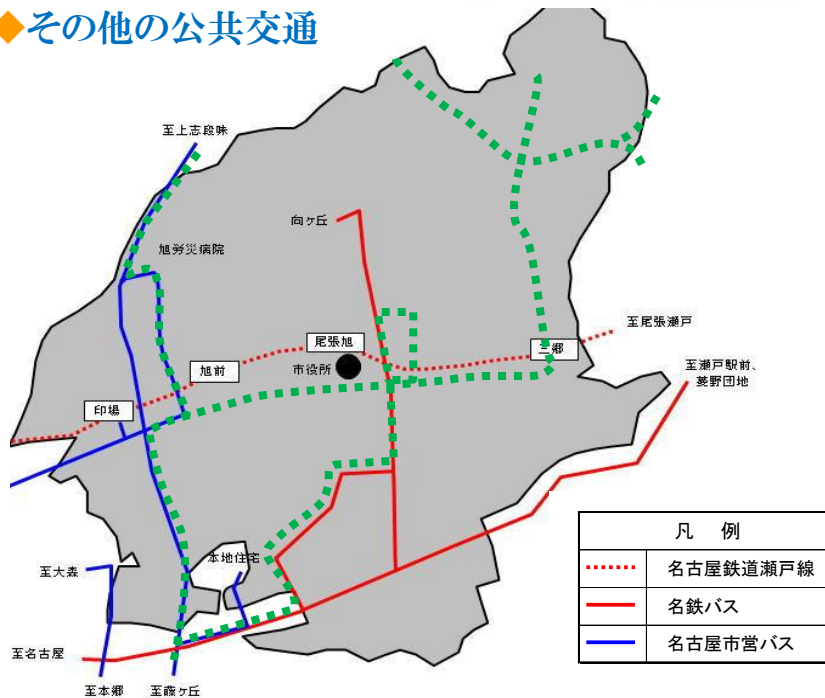
◆イメージキャラクター
あさぴー(市民公募で決定)



◆市営バス あさぴー号(市民公募で決定)
西ルート、東ルートの2ルートの、
右回り、左回りの双方向ループ方式で運行



◆その他の公共交通



尾張旭市営バス「あさび一号」を育てる会の発足までの流れ

■平成15年度

尾張旭市交通問題対策協議会の開催(学識経験者、市民代表、公募委員)



■平成16年度

尾張旭市交通問題懇話会の開催



料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。



ルートの増強。市外にも停留所を増設。



マイクロバスを導入し、愛称・車両デザインを公募。



本格運行の開始(平成20年4月1日)



■平成19年度

市民団体発足準備(発起人:4名)



■平成21年6月4日

尾張旭市営バス「あさび一号」を育てる会発足

会員数: 32名(平成22年3月1日現在)

目的: 市営バス「あさび一号」の運営に関する取り組みを通じて、その活性化を図るとともに、市民の生活の足として、市営バスを守り、育てていく。

1 事業の背景と目的

- ◆ あさび一号を、さらに市民に親しまれる公共交通機関とするためには利用者や市民レベルで話し合いを行う必要がある。
- ◆ 本格運行開始後に、市が実施したアンケートでは、認知率は96%に留まっていた。更なる利用促進のためには、まず市民の認知率の向上を図る必要がある。
- ◆ あさび一号を守り育てていくためには、市民が主体となった「草の根」的な取組みが欠かせない。そのためには、あさび一号の現状を市民の視点でしっかりと把握することが必要。
- ◆ 単に行政の取組みを応援するだけでなく、市民目線での要望や提言を随時行い、あさび一号が市民に親しまれ、より良いものとなるよう努める。



2 事業の概要

市開催イベントに参加（アンケートの実施・利用啓発活動の実施）

市営バスペーパークラフトの作成



アンケートの実施

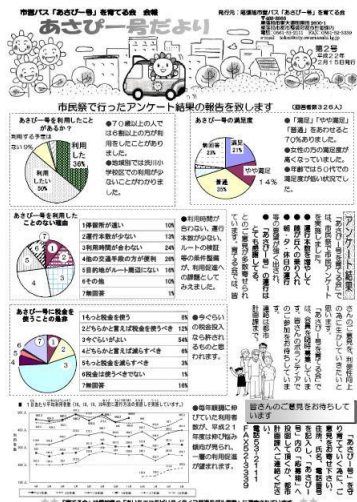


市営バスの乗車体験



写真撮影会

会報「あさび一号だより」を発行



会員による会報印刷作業（午前9時から午後6時まで）

利用者ニーズを把握するため、あさぴー号に1日乗車してアンケートを実施



EXPOエコマネー事業を実施



バス車内の専用リーダー



エコマネー体験

会報の配布(商業施設内)

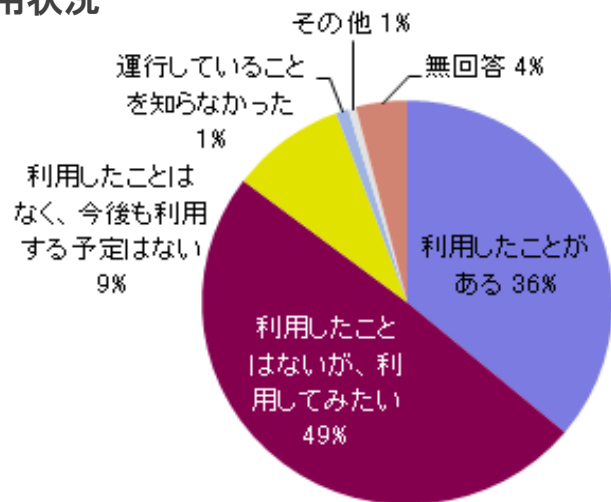


バス停への植樹

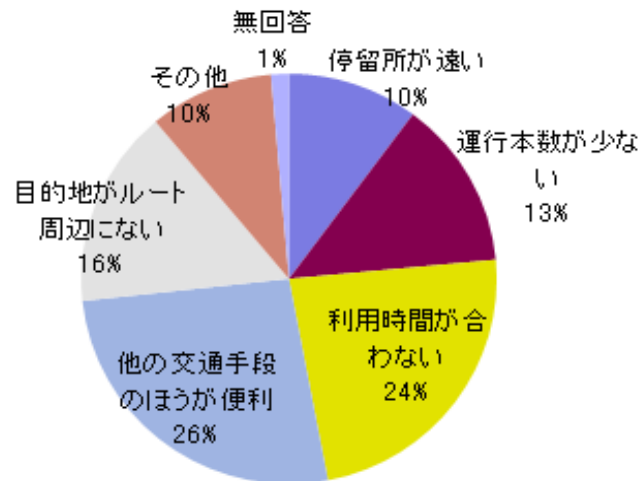
3 事業の実施結果

アンケート結果(平成21年10月10日開催イベント時実施)

■ 利用状況

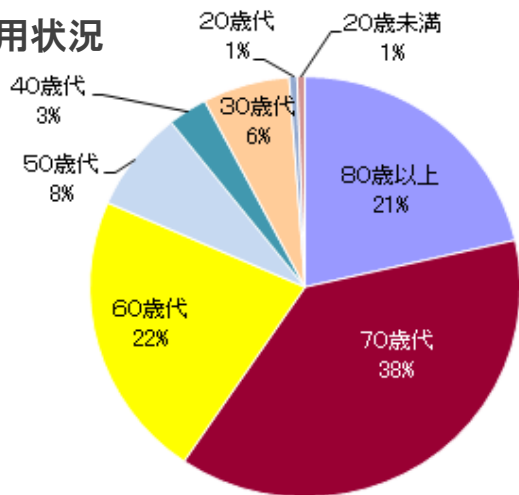


■ 利用したことのない理由

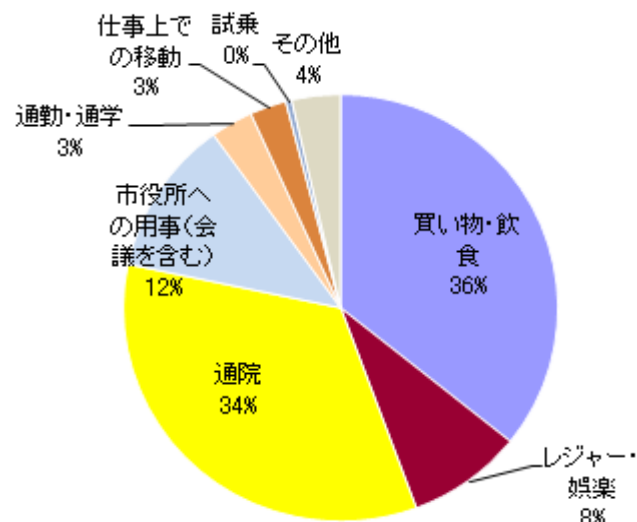


利用者アンケート結果(平成21年12月10日実施)

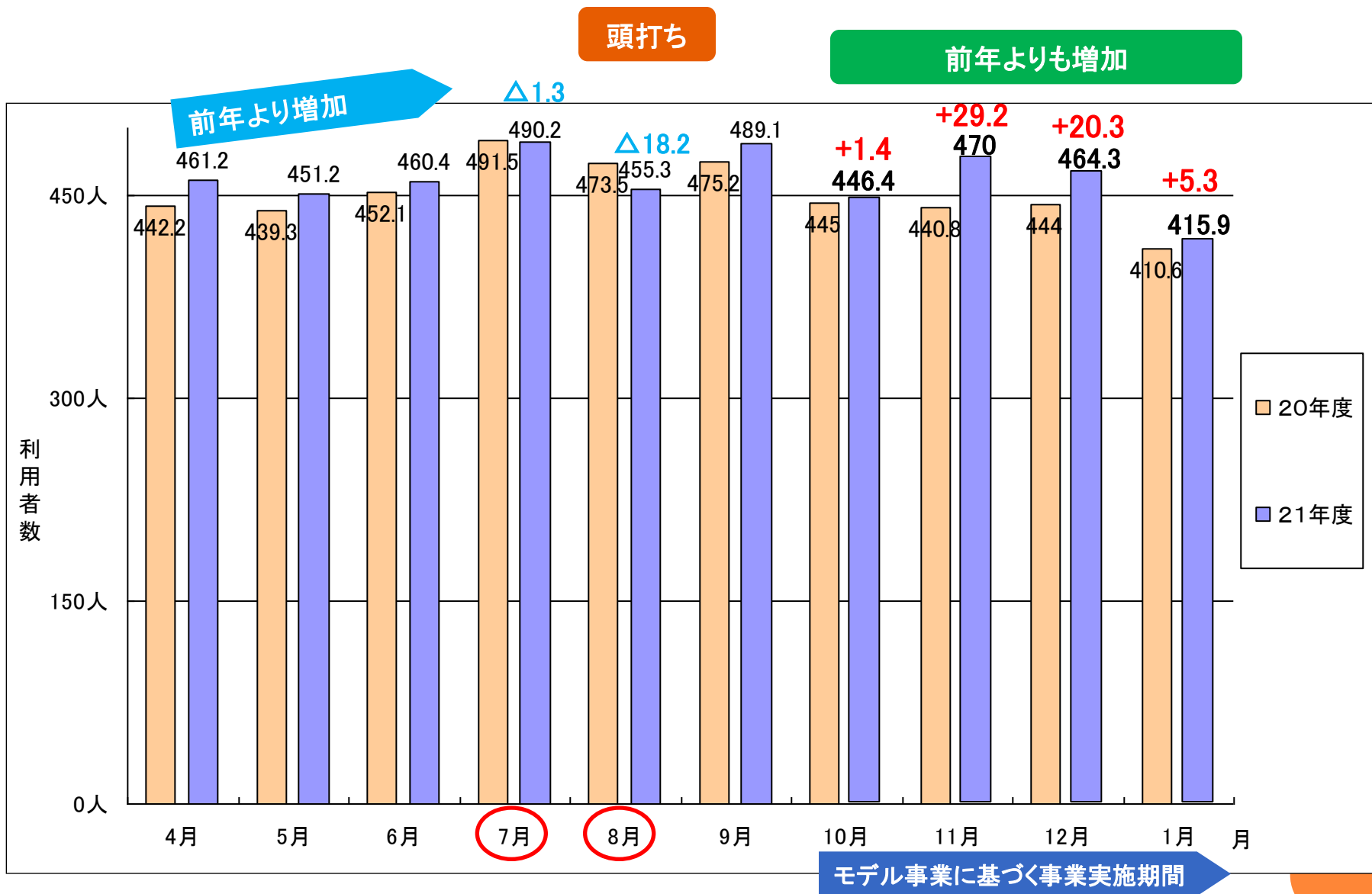
■ 年齢別利用状況



■ 利用目的



利用者数の推移(1日あたり平均利用者数)



※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行

資料:市都市計画課

5 今後の課題及び展開

- ▼ 決して無理せず、また堅苦しくなく、参加者が楽しみながら活動することで、おのずと活動の輪は広がっていく。そうすれば、利用者も増加し、ひいては市営バスを守り、育てていくことにつながっていく…
- ▼ 今年度の実績に基づき、さらにあさび一号の利用を促進。利用状況の調査を継続的に行い、行政とは違った視点で事業評価。EXPOエコマネー事業の経験に基づき、市内商業施設や商工会等との連携も研究。
- ▼ 私たちの活動によって、「寝たきりにさせないまち」、「外に出かけたくなるまち」の実現につなげ、これによって「人と人が触れ合う機会」が増え、コミュニティの活性化にもつながっていくことができれば…

ご清聴ありがとうございました。

